



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月29日

上場会社名 大成ラミック株式会社
 コード番号 4994 URL <http://www.lamick.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 木村 義成
 (氏名) 長谷部 正
 配当支払開始予定日

TEL 0480-97-0224
 平成24年12月10日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,850	△3.9	1,007	△22.2	1,003	△22.7	576	△22.8
24年3月期第2四半期	10,250	7.6	1,294	19.7	1,297	18.8	746	18.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	92.85	—
24年3月期第2四半期	120.25	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
25年3月期第2四半期	21,214		12,382		58.4	
24年3月期	18,877		12,023		63.7	

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 12,382百万円 24年3月期 12,023百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	33.00	—	37.00	70.00
25年3月期	—	33.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	37.00	70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,200	△0.9	1,757	△11.1	1,750	△12.3	1,016	△7.8	163.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	6,300,000 株	24年3月期	6,300,000 株
25年3月期2Q	91,600 株	24年3月期	91,565 株
25年3月期2Q	6,208,413 株	24年3月期2Q	6,208,482 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
5. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景として緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、世界景気のさらなる下振れ懸念や長期化する円高・デフレ等により、先行きは依然厳しい状況が続いております。

当軟包装資材業界におきましては、原油価格の変動による原材料価格の影響を受け、各社とも予断を許さない状況にあります。

このような状況下、当社のビジネスモデルである包装フィルムと液体充填機械を提供する体制のもと、液体充填システムを国内外の食品並びに化粧品業界等に対し、積極的な営業活動に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は98億50百万円（前年同四半期比3.9%減）、営業利益は10億7百万円（同22.2%減）、経常利益は10億3百万円（同22.7%減）、四半期純利益は5億76百万円（同22.8%減）となりました。

[包装フィルム部門]

包装フィルム部門につきましては、震災の影響に伴うユーザーの在庫過多や市場の在庫調整に加え、鍋スープ等の季節商品の出足も鈍く受注量が減少し、前年同四半期の売上を下回りました。

その結果、包装フィルム部門の売上高は91億4百万円（前年同四半期比5.3%減）となりました。

[包装機械部門]

包装機械部門につきましては、設備投資に慎重であった昨年からの反動を受け、新型液体高速充填機「DANGAN G」と主力機である「DANGAN Type III」がともに、ユーザー各社から多くの引き合いを受け、前年同四半期の売上を上回りました。

その結果、包装機械部門の売上高は7億45百万円（前年同四半期比17.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べ23億36百万円（前事業年度末比12.4%）増加し、212億14百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ3億36百万円（同2.9%）増加し、118億51百万円となりました。主たる増加要因としては、受取手形及び売掛金が5億41百万円増加し、商品及び製品が1億81百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ20億円（同27.2%）増加し、93億62百万円となりました。主たる増加要因としては、新工場建設に伴い有形固定資産のその他（純額）が19億89百万円、無形固定資産が1億8百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前事業年度末に比べ19億77百万円（同28.8%）増加し、88億31百万円となりました。主たる増加要因としては、新工場建設に伴う資金調達で長期借入金（1年内返済予定含む）が8億32百万円、買掛金が5億28百万円、流動負債のその他が6億72百万円増加したことによるものです。

純資産合計は、123億82百万円（前事業年度末の純資産合計は120億23百万円）となりました。主たる増加要因としては、利益剰余金が3億46百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末の63.7%から5.3ポイント下降し58.4%となり、1株当たり純資産額は1,994円44銭となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期会計期間末及び当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動による収入が8億96百万円、投資活動による支出が17億2百万円、財務活動による収入が5億81百万円あったことにより、前事業年度末に比べ9億6百万円減少し、当第2四半期会計期間末には15億38百万円となりました。

当第2四半期累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は8億96百万円(前年同四半期比109.3%増)となりました。

収入の主な内訳は、税引前四半期純利益9億65百万円、仕入債務の増加額5億28百万円、減価償却費2億77百万円、たな卸資産の減少額1億円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額5億41百万円、法人税等の支払額4億61百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は17億2百万円(同373.2%増)となりました。

これは主に、新工場建設に伴う有形固定資産の取得による支出14億69百万円、無形固定資産の取得による支出1億31百万円、定期預金の預入による支出1億円(純額)等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は5億81百万円(前年同四半期は4億2百万円支出)となりました。

これは主に、新工場建設に伴う資金調達で長期借入れによる収入10億円、配当金の支払額2億29百万円、長期借入金の返済による支出1億67百万円等であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成24年5月7日に公表いたしました業績予想につきましては修正を行っておりません。具体的内容につきましては、平成24年10月29日公表の「平成25年3月期第2四半期(累計)業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却の方法)

法人税法の改正(平成23年12月2日公布の「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)、「法人税法施行令の一部を改正する政令」(平成23年政令第379号)及び「法人税法施行規則の一部を改正する省令」(平成23年財務省令第86号)並びに平成24年1月25日公布の「減価償却資産の耐用年数等に関する省令の一部を改正する省令」(平成24年財務省令第10号))に伴い、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法(200%定率法)に変更しております。

この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,563,460	3,439,548
受取手形及び売掛金	5,623,825	6,165,202
有価証券	199,790	200,720
商品及び製品	1,413,205	1,231,762
仕掛品	351,110	402,548
原材料及び貯蔵品	117,722	147,571
その他	252,157	266,448
貸倒引当金	△6,186	△2,466
流動資産合計	11,515,086	11,851,337
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,669,189	1,623,489
機械及び装置(純額)	981,527	909,234
土地	3,338,958	3,338,958
その他(純額)	588,380	2,577,683
有形固定資産合計	6,578,056	8,449,366
無形固定資産		
投資その他の資産	355,734	463,772
その他	453,326	460,235
貸倒引当金	△24,237	△10,435
投資その他の資産合計	429,088	449,800
固定資産合計	7,362,879	9,362,938
資産合計	18,877,966	21,214,275
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,763,299	3,291,992
1年内返済予定の長期借入金	312,096	454,896
未払法人税等	478,909	437,523
賞与引当金	291,000	294,000
役員賞与引当金	25,100	10,800
株主優待引当金	62,879	30,228
その他	966,360	1,639,340
流動負債合計	4,899,645	6,158,780
固定負債		
長期借入金	1,516,474	2,205,726
退職給付引当金	277,391	309,998
役員退職慰労引当金	30,616	32,416
その他	130,332	125,020
固定負債合計	1,954,814	2,673,162
負債合計	6,854,459	8,831,942

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,408,600	2,408,600
資本剰余金	2,896,075	2,896,075
利益剰余金	6,941,822	7,288,608
自己株式	△209,228	△209,307
株主資本合計	12,037,269	12,383,975
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△13,762	△1,642
評価・換算差額等合計	△13,762	△1,642
純資産合計	12,023,506	12,382,333
負債純資産合計	18,877,966	21,214,275

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	10,250,437	9,850,201
売上原価	7,639,706	7,548,723
売上総利益	2,610,731	2,301,477
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	278,297	251,514
貸倒引当金繰入額	62	△5,013
役員報酬	58,402	60,153
役員賞与引当金繰入額	11,025	10,800
給料及び手当	320,437	298,704
賞与引当金繰入額	101,776	94,222
退職給付費用	32,456	32,638
役員退職慰労引当金繰入額	2,083	1,800
福利厚生費	59,329	61,261
旅費及び交通費	45,345	50,116
賃借料	125,892	138,710
消耗品費	29,227	26,824
減価償却費	48,721	35,981
株主優待引当金繰入額	28,360	30,228
その他	174,428	206,263
販売費及び一般管理費合計	1,315,847	1,294,205
営業利益	1,294,884	1,007,272
営業外収益		
受取利息	1,587	3,743
受取配当金	2,178	2,297
物品売却益	3,214	4,725
受取補償金	5,111	3,975
雑収入	2,981	2,615
営業外収益合計	15,073	17,356
営業外費用		
支払利息	6,836	6,502
売上割引	965	1,033
支払補償費	2,671	5,245
為替差損	2,089	7,698
雑損失	54	817
営業外費用合計	12,617	21,298
経常利益	1,297,339	1,003,330
特別利益		
固定資産売却益	19	—
投資有価証券売却益	100	—
特別利益合計	119	—

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
特別損失		
固定資産売却損	5,115	—
固定資産除却損	8,897	8,895
投資有価証券評価損	5,475	28,967
役員退職慰労金	1,750	—
特別損失合計	21,238	37,863
税引前四半期純利益	1,276,219	965,466
法人税、住民税及び事業税	555,027	420,458
法人税等調整額	△25,408	△31,488
法人税等合計	529,618	388,969
四半期純利益	746,600	576,497

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,276,219	965,466
減価償却費	289,523	277,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△32	△17,522
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,400	3,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,325	△14,300
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△33,552	△32,651
退職給付引当金の増減額(△は減少)	19,976	32,607
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△4,374	1,800
受取利息及び受取配当金	△3,766	△3,961
有価証券利息	—	△2,078
支払利息	6,836	6,502
為替差損益(△は益)	1,494	—
有形固定資産売却損益(△は益)	5,096	—
有形固定資産除却損	6,438	4,782
無形固定資産除却損	824	1,146
投資有価証券評価損益(△は益)	5,475	28,967
投資有価証券売却損益(△は益)	△100	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,008,491	△541,376
たな卸資産の増減額(△は増加)	△268,212	100,156
仕入債務の増減額(△は減少)	625,437	528,692
未払消費税等の増減額(△は減少)	△9,705	△16,190
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△30,031	△21,329
その他の流動負債の増減額(△は減少)	22,258	44,125
その他の固定負債の増減額(△は減少)	206	△588
その他	170	13,802
小計	902,768	1,358,050
利息及び配当金の受取額	3,966	6,151
利息の支払額	△6,804	△6,422
法人税等の支払額	△471,624	△461,332
営業活動によるキャッシュ・フロー	428,306	896,446

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,600,649	△3,401,491
定期預金の払戻による収入	3,700,476	3,301,253
貸付けによる支出	△22,000	—
貸付金の回収による収入	3,938	2,598
有形固定資産の取得による支出	△199,711	△1,469,478
有形固定資産の売却による収入	1,600	—
無形固定資産の取得による支出	△205,607	△131,970
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△2,999	△3,071
投資有価証券の売却による収入	6,706	—
関係会社株式の取得による支出	△41,575	—
その他	105	122
投資活動によるキャッシュ・フロー	△359,715	△1,702,037
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△156,048	△167,948
リース債務の返済による支出	△16,949	△21,190
配当金の支払額	△229,508	△229,341
自己株式の取得による支出	—	△79
財務活動によるキャッシュ・フロー	△402,505	581,440
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,494	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△335,410	△224,150
現金及び現金同等物の期首残高	2,780,179	1,762,620
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,444,769	1,538,470

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

前第2四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)及び当第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

当社の事業は、液体・粘体包装フィルム及び高速自動充填機の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

5. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

当社の事業は、液体・粘体包装フィルム及び高速自動充填機の製造・販売事業の単一セグメントであるため、部門・区分別に記載しております。

(1) 生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績は、次のとおりであります。

区 分		生産高(千円)	前年同四半期比(%)
包装 フ ィ ル ム	液体・粘体自動充填用フィルム	7,225,344	△9.4
	ラミネート汎用品	1,106,078	△28.5
	その他	123,549	△4.5
	計	8,454,971	△12.4
包装 機 械	包装機械	418,490	+38.6
	周辺機器	193,430	+146.0
	その他	120,829	△36.6
	計	732,750	+28.3
合 計		9,187,722	△10.1

- (注) 1. 上記の金額は販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。
 2. 包装フィルムの液体・粘体自動充填用フィルムには、粉末自動充填用フィルムが含まれております。
 3. 包装フィルムのその他には、版代等が含まれております。
 4. 包装機械のその他には、包装機械本体及び周辺機器を除く部品等が含まれております。

(2) 製品仕入実績

当第2四半期累計期間における製品仕入実績は、次のとおりであります。

区 分	製品仕入高(千円)	前年同四半期比(%)
汎用フィルム	347,892	+17.7
合 計	347,892	+17.7

- (注) 上記の金額は仕入価格によっており、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注実績

当第2四半期累計期間における受注実績は、次のとおりであります。

区 分		受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
包装フィルム	液体・粘体自動充填用フィルム	6,993,632	△15.4	2,409,733	△36.0
	ラミネート汎用品	1,186,961	△35.3	151,352	△71.4
	その他	591,437	+15.8	180,619	+6.6
	計	8,772,031	△17.4	2,741,705	△38.6
包装機械	包装機械	400,174	+43.4	131,012	△23.0
	周辺機器	183,346	+189.6	59,621	+66.5
	その他	116,109	△31.2	33,071	△0.3
	計	699,630	+36.9	223,705	△6.5
合 計		9,471,662	△14.9	2,965,410	△36.9

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. 包装フィルムの液体・粘体自動充填用フィルムには、粉末自動充填用フィルムが含まれております。
 3. 包装フィルムのその他には、版代等が含まれております。
 4. 包装機械のその他には、包装機械本体及び周辺機器を除く部品等が含まれております。

(4) 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

区 分		販売高(千円)	前年同四半期比(%)
包装フィルム	液体・粘体自動充填用フィルム	7,383,937	△2.2
	ラミネート汎用品	1,174,236	△26.1
	その他	546,243	+13.4
	計	9,104,417	△5.3
包装機械	包装機械	425,295	+46.4
	周辺機器	198,300	+39.7
	その他	122,188	△38.9
	計	745,784	+17.9
合 計		9,850,201	△3.9

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. 包装フィルムの液体・粘体自動充填用フィルムには、粉末自動充填用フィルムが含まれております。
 3. 包装フィルムのその他には、版代等が含まれております。
 4. 包装機械のその他には、包装機械本体及び周辺機器を除く部品等が含まれております。
 5. 輸出については、総販売実績に対する割合が100分の10未満であるため記載を省略しております。
 6. 主要顧客については、総販売実績に対する割合が100分の10未満であるため記載を省略しております。